



YMCA News



2025年4月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒320-0041
宇都宮市松原2-7-42
Tel 028-624-2546
Fax 028-624-2489
www.tochigiyymca.org
発行人 / 塩澤 達俊
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA



「行って、同じようにしなさい あなたはどうする？」

2025年4月、新しい年度を迎えました。
すべてのみなさまにとりまして、良き春となりますようにお祈り申し上げます。
保育園や子ども園で、学校で、職場で、地元地域で、家族のなかで、ひとりひとりのなかで・・・、
4月からの大きく生活が変わったよという方もあれば、相変わらずいつもと同じだよという方も
いらっしゃるでしょう。



カント『実践理性批』

時に依りけりですが、わたしたちには新しく変わることも大切ですし、いつもと変わらないことも大切です。そのとき大切なことは、変わらない安定のなかにも変化の試みの余地があり、変化のなかにも変わらないものを守り続けることができる、ひとりひとりの意志の「自由」と「自律」があるかどうかです。
決まりでそう決まっているから、誰かがそうしろと言うから、というのは「自由」や「自律」ではありません。また、それ以上に、自分の好き勝手にするということも「自由」や「自律」ではありません。むしろ、自分の利益や欲望といったものに誘惑されて自分の行いを決めていような自分の好き勝手こそ、「自由」と「自律」の真反対の「他律」であり「不自由」だということの見方もあります。
2025年度とちぎYMCAが掲げる基本聖句＝大切にしたい聖書の言葉は、昨年度と同じ《善きサマリア人（ルカによる福音書10章25節～37節）》のストーリーです。おいはぎに身ぐる

みはがされケガを負った人を、通りかかったサマリア人が介抱してお金まで負担して助けた話です。

神さまや誰かに褒められるからとか、自分の気持ちが良くなるからとか、そう決まっているからという理由ではなく、そうしたいから自然とそうしたという話です。その行いは、当時の法律や慣例からすれば、そうしないほうが望ましかったので戒められるかもしれないのに、です。

一方、サマリア人のこの行いは、2000年前の時代であっても、現代であっても、キリスト教を信じていようと、いまいと、どこの国であろうと、どんな立場の人であろうと、そうすることに変わるものがない「善」があります。

ここに真の「自由」と「自律」があるのです。
さて!新しい季節を迎えました。大きく生活が大きく変わった方にも、相変わらずいつもと同じだよという方にも、すべてのみなさんと一緒に「他律」と「不自由」から解放された良い季節を過ごしてゆきましょう!

公益財団法人とちぎYMCA 総主事 塩澤達俊

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2025年度とちぎYMCA年間聖句

《善きサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章25節～37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「 卒園式の様子 」



3月14日、2024年度卒園式が行われました。朝から卒園生の門出を祝うかのような暖かな日差しが差し込む春の一日、99名の卒園生が園長先生から保育証書を授与されました。一人ひとりの立派な姿にさくらんぼ幼稚園で過ごした日々が走馬灯のように思い出されました。

これからの小学校での生活が健康で楽しい毎日になりますようお祈りしています。幼稚園の桜を見上げながらみんなの顔を思い出しつつまでもエールを送り続けます。

♪ なんとわらって、なんとないて～♪ たくさんのもだちとここであそんでいたね～♪
♪ さくらのはなびらふるころは～ランドセルのいちねんせい～♪

たくさんお話をしたね。みんなの笑顔が大好き! これからもずっと応援しているよ!
うめ組 山形 朋実

楽しい思い出がたくさんできたね! 楽しい毎日をありがとう!
もも組 小野 愛未

1年間みんなで心と力を合わせてよく頑張りました! はなまる120点!!
さくら組 齋藤 百実

いつも元気いっぱいみんな! 可愛いみんなの笑顔が大好きよ～!!
つばき組 西原 里英

入園から今日までの保育にご理解とご協力を頂いた保護者の皆様に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

本澤 利香

ようとう保育園 「 ようとう保育園NewFace 」



味田 真理子 (みた まりこ) さん

保育施設(前職場)を退職後、子どもの元気な声を再度聞きたくなり、ようとう保育園に就職しました。高齢な私ですが、午前中だけの勤務で、気持ちの良い人たちに見守られ、助けていただきながら楽しく毎日を過ごすことができています。



Bharti Megha (バルティ メガ) さん

I am from India. I am teacher by profession having 6 years of teaching experience. I am TEFL certified and eligible to teach English. I have joined YMCA in the month of October. I have not imagined that I would have such a great pleasure to work here. Staff members are very generous and supportive. YMCA has given me opportunity to understand the education system in Japan. It helps me to understand the process of raising kids and helping them to grow mentally and physically. I would like to thank all the staff members for their kind support which helps me to proceed smoothly.

出身国のインドでは6年間教師として働いており、英語が専門です。YMCAでは昨年10月から働いていますが、ここで働けることがこんなに嬉しいとは思っていませんでした。YMCAでの働きは日本の保育システムについて知る機会となり、子どもたちの精神的・身体的な成長を支えているのだと学んでいます。スタッフの皆さんはとても思いやりがあって、皆さんのサポートのおかげでスムーズに仕事を進めることができています。



子どもの家だより ～上戸祭子どもの家 上戸クラブ～ 「 楽しい外遊び! 」



冷たい風が吹く季節でも、上戸クラブの子どもたちは外遊びが大好きです。宿題を終えると、元気よく外へ飛び出していきます。

この時期、夢中になっているのが縄跳びです。始めたころの1年生は、前跳びや後ろ跳びがやっとでしたが、今では二重跳びを10回以上跳べる子が何人も見られるようになりました。他にも、交差跳びやあや跳びも上手になり、学校の先生からも「学童の子どもたちは上達が早いですね」と言われています。

校庭ではドッジボールも人気です。異学年の子どもたちが混ざり、大人数で遊ぶときは、コートを広くしたり、ボールを2個使ったりと、子どもたち自身が工夫しながら楽しんでいます。

暖かい日には、花壇や学童の周りでダンゴムシを見つけ、手のひらに乗せて観察する子どもたちの姿も。オスとメスの違いを見分けられるようで、得意げに教えてくれます。

これからも、子どもたちの個性を尊重し、一緒に喜びや感動を分かち合いながら、成長を見守っていきます。

堀江 紀子



ひがしやまアトムクラブ 「 新年度まであと少し 」



今年度もいよいよ最後の月となりました。あっという間に1年が過ぎ、今年度も残りわずかとなりました。

1～2年生の男子は、いつものようにレゴで作品を作り、スタッフのもとへ嬉しそうに見せに来てくれます。女子は、ご寄付いただいたシルバニアファミリーで楽しそうに遊んでいます。使いたいものが重なったときには、きちんと話し合っ決めて決める姿も見られました。そんな様子を見ていた5年生の女子も「懐かしい!」と言いつつ遊び、とても微笑ましい光景でした。

高学年の子どもたちは、帰宅するとすぐに宿題やタブレット学習に取り組み、その後は卓球やルービックキューブなどで男女仲良く過ごしています。校庭では、サッカーや砂遊び、鬼ごっこをして元気いっぱい走り回る姿も見られます。

2年生は、進級すると2階の「さくら」に移ります。高学年の子たちと同じ部屋になることを楽しみにしている子もいれば、少し緊張している子もいるようです。

1年生は、新しく入ってくる1年生を迎えることを心待ちにしています。「アトムのことをいろいろ教えてあげてね」と伝えると、笑顔で「うん!」と頼もしい表情を見せてくれました。

そして、もうすぐ卒業式。毎年この時期は寂しさを感じますが、残りの小学校生活をアトムでたくさん楽しみ、思い出を作りたいと思います。卒業生をアトムのみんなで見守りたいです。

飯田 律子



宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 「 15年目もトライ東で! 」



とちぎYMCAが宇都宮市青少年活動センター(トライ東)を指定管理者として運営し、今年度で15年目になります。今泉周辺を歩くと、「じゃあ、トライ集合で!」と友だちと約束して足早に家へ帰る小学生の姿を時々目にします。15年という時間の中で、「トライ東」という愛称も少しずつ地域に浸透してきているように感じています。

そんな15年という時間の中で当たり前になってきた愛称に対して、「そういえばなんで“トライ東”が愛称なんだろう?“チャレンジ東”でもよかつたんじゃない?」と思ったことがあります。語呂的に“トライ東”と言われたらそれまでですが、「challenge(チャレンジ)」という言葉の中には、「困難」に挑戦するというニュアンスが強くあらわされているようです。はたまた「try(トライ)」は試しにやってみるといったニュアンスや、過去にしていなかった何か新しい目標やしたいことをやってみるといったチャレンジよりもちょっと気楽なイメージがあるようです。

「トライ東」は、青少年の意識や生活環境の変化など、多様化するニーズに対応できる施設として、青少年の健全育成、自主的活動及び交流の促進を図ることを目的としています。もう少し簡単に言うならば、青少年の心の中にある「ちょっとやってみよう!」を応援する施設です。昨今、他者との関わりが減少しがちですが、その心にある「まあちょっとやってみようかな」に従って気楽にトライ東に遊びにいらして下さい。様々なセミナーやイベントを用意して待っています。

さて、また新しい1年間がはじまります!今年度もトライ東をよろしく願います!

管理責任者 濱塚 牧人

体育館、講習室、料理室、和室、テニスコートなど、それぞれの目的に合ったご利用ができます。また、定期的に絵本の読み聞かせや工作などのイベントを行う子育て中の家族を応援する「あそぼの家」もごさいます。

インターナショナルチャリティーラン 「招待 富士山キャンプ ふじさんぽ」のご報告



3月8日～9日の1泊2日で、インターナショナルチャリティーラン「招待 富士山キャンプ ふじさんぽ」を開催しました。今回は、参加者16名とスタッフ3名が集まり、充実した2日間を過ごしました。

1日目は、沼津港で美味しい昼食を楽しんだ後、東山荘に到着。到着後は、翌日の雪遊びに向けたレクチャーを受け、参加者全員がウィンタースポーツへの期待を膨らませました。夕食はバイキング形式で提供され、しっかりとエネルギーを補給。その後のレクリエーションでは、グループに分かれて「ハイパーメガ双六」に挑戦し、大いに盛り上がりました。楽しい時間を過ごした後は、翌日に備えて早めに就寝しました。

翌日は朝食を終え、いよいよメインプログラムの「サルボード」と「雪のふじさんぽ」に出発しました。

サルボードの会場に到着すると、真っ白な雪が一面に広がり、まるで絵画のような美しい風景が迎えてくれました。初めての体験に緊張しながらも、現地スタッフ「サルリーダー」の指導を受け、勇気を出して雪の斜面を滑降。最初は不安もありましたが、次第にコツをつかみ、笑顔があふれる時間となりました。転んでしまうこともありますが、それすらも楽しい思い出のひとつとなり、終始和やかな雰囲気の中で活動が進みました。

その後は、「雪のふじさんぽ」と名付けられたハイキングへ。雪に覆われた大自然の中を歩きながら、小動物の足跡を見つけたり、雪をまとった美しい木々を眺めたりと、五感を使って自然を満喫しました。サルリーダーによる解説を聞きながら、自然への理解を深め、心身ともにリフレッシュできる貴重な時間となりました。参加者同士の絆も深まり、特別な体験が心に刻まれました。

本キャンプは、とちぎ YMCA インターナショナルチャリティーランの寄付金により運営することができました。ご支援いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

菅井 宏益



2025 グローバルスタディキャンプ in フィリピン

フィリピンの若者と共に考え、共に学ぶ



2025 グローバルスタディキャンプ 参加者募集中!

1985年に始まったこのフィリピンキャンプは、その時々ニーズに合わせて内容を変えながら30年以上続いています。コロナ禍により中止していましたが、2025年度の夏に再開いたします!

- 日程 2025年8月7日(木)～14日(木)(7泊8日)
- 締切 2025年4月30日(水)
- 対象 15歳以上の男女で国際交流・協力に関心があり、心身ともに健康で協調性のある者
事前研修・事後報告会に出席できる者
- 費用 (一般)190,000円(プログラム費100,000円・旅行代金90,000円)
(学生)150,000円(プログラム費60,000円・旅行代金90,000円)
*学生には、YMCAから補助が出るため、上記の金額になります。
*燃油サーチャージ/空港諸税・サービス施設料(25,980円*2025年3月13日時点)が別途必要です。
*費用には、成田⇄マニラ往復航空券、プログラム費、食費、宿泊費、などが含まれます。
*パスポート取得費、日本国内交通費、海外旅行保険などは、自己負担となります。

まずは、オンライン説明会にご参加ください! (予約制)

- 【日程】①2025年3月29日(土)9:00～10:00
②2025年4月9日(水)19:00～20:00
③個別説明会
※(①②)の上記日程では難しい方は、個別にご案内させていただきます。その旨選択され、ご予約をお取りください。

【問合せ】公益財団法人とちぎYMCA 担当:小野寺 温代
電話) 028-661-7451
email) onodera.atsuyo@tochigi-ymca.org

フィリピンスタディーキャンプ概要はコチラ!▼



共に学び、共に考える!

宇都宮市まちづくりセンター “まちぴあ” です!

2025年4月から公益財団法人とちぎYMCAが指定管理者として、「宇都宮市まちづくりセンター」を運営することになりました。愛称はまちぴあです。

まちぴあは市民による「まちづくり活動」がより活性化されるよう、ボランティア団体・NPO法人といった市民活動団体の連携促進や組織基盤強化など、多様な支援を行うまちづくり活動の拠点施設であり、中間支援組織です。

私たちが生きるこの社会は多様な要素が相互に作用しあい、複数の文脈が絡み合うため、分析だけでは問題と主な原因が一つに同定できないものです。また表面上の課題に目を向けて行動すると、また副作用のループが遅れて発生してきます。私たちはなんだかこのスパイラルに飲み込まれているように感じます。



宇都宮市まちづくりセンター

まちぴあ

私たちが大切にしたいのは、ケイパビリティの連鎖と結合です。ケイパビリティとは、主に組織や人が持つそれぞれが持つ強みを指しますが、これが有機的に連鎖することがよりよい社会状況の構築の一手となるのではないかと考えています。

とにもかくにも、まずは「まちぴあ」が様々な文化の中で暮らす、あるいは持つ方と共に汗をかき、多文化かつ俯瞰した視座を獲得することからだと思っていますのでたくさんの方やグループ、組織がまちぴあを活用して楽しみ、私たちとつながり、気づきを相互に共有していくことができたら幸いです。

これからとちぎYMCAが運営する「まちぴあ」をどうぞよろしくお願いします。一緒に活動を楽しみましょう!

宇都宮市まちづくりセンター 所長 濱塚牧人

月刊#(ハッシュタグ)



第44回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

#スタディー・ツアー #スラム #ロザリオ #不思議のメダイ #聖水



フィリピンへ行ってきました。スタッフの小野寺さん、大浦さん、坂本さんと私の4人です。とちぎYMCAのスタディー・ツアーを再開させるため、リサーチとごあいさつに伺った次第です。

コロナ禍で途絶えていたこのツアーは38年前、ハンセン病の隔離病院と修道院と大学を中心に広がったタラ村でのブタ小屋作りワーク・キャンプにはじまり、その後スラムの漁港ナボタスも訪ねる交流ツアーへと変遷しましたが、共通のテーマは差別や貧困の中に生きる人々や学生たちとともに感じ学び支え合いです。

私たち4人はナボタスの修道院で、社会のこと、貧困のこと、ツアーのこと、信仰のことなどを神父さまとひとしきり意見を交わした後、ありがたい《ロザリオ》をいただきました。

《ロザリオ》とは、キリスト教カトリック教会で聖母マリアの祈りを唱えるときに使う数珠のようなグッズです。



そのロザリオの中心部には《不思議のメダイ》という楕円のメダルがあります。1830年にフランスの修道女ラブレのもとに聖母マリアが現れ『メダイを作りなさい、そのメダイを身に着けると多大な恵みがある』と告げられ作られたそうです。それ以降メダイを身に着け多くの人々がたくさんの祝福を受けたというので《不思議のメダイ》と呼ばれ今も作られているのです。

いただいた《ロザリオ》はエルサレムの「聖水」で清められているとのことでしたので、私には危険なのではないかと心配しましたが、眩暈や焼けるような痛みを覚えることもなく身に着けることができました。これは吉兆です!

この夏8月から再開する『グローバルスタディキャンプ in フィリピン』では日比両国の参加者に多くの祝福が与えられることでしょう! 1ペソ2.5円という円安為替の影響で参加費は少々高くなるかもしれませんが、それ以上に《不思議な》恵みのあるキャンプになりますので、ぜひご参加、ご紹介などいただければ幸いです。

『グローバルスタディキャンプ in フィリピン』はただいま参加者募集中!
詳細は、本誌3ページをご覧ください。

国際協力募金×ホワイトデー

3月に実施した「国際協力募金×ホワイトデー」では、チョコレートとコーヒーのセット(1セットにつき300円が寄付)を販売しました。初めての試みでしたが、ご用意した50個はあっという間に完売!皆さまの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

売上15,000円は「とちぎYMCA国際協力募金」に寄付し、以下の支援活動に活用されます。

1. 日本YMCA同盟を通じた国際支援
2. フィリピンの学生への奨学金支援
3. パレスチナ緊急支援募金
4. とちぎYMCAの国際プログラム
(国際理解ワークショップ・ユース海外プログラムなど)

とちぎYMCAでは、タラHRCFの大学生2名とナボタスの大学生2名を支援しています。今年2月にはフィリピンを訪問し、とちぎYMCAの奨学生とも対面しました。奨学生の皆さんから感謝の手紙を預かりましたので、ご紹介いたします。

Mabuhay! Welcome to the Philippines! Finally, we met on person. Thank you so much for making effort to meet us. It was a great experience to have a short bonding with you and other sponsors. We treasure talking with us and knowing each other. You are really kind person with a big heart. You inspired us to help other people who also in needs. We prepare a little gift of appreciation for all of you. We know that is not enough to pay all those assistance you gave to us but we hope you'll like it.

フィリピンへようこそ! やっと実際に会うことができました。わざわざ会いに来てくれてありがとうございます。短い間でしたが、みなさんと実際にお会いできてお話しできたことは素晴らしい経験でした。みなさんとても親切で大きな優しさをもっており、私たちはその優しさに影響を受け、他に助けを必要としている人がいれば助けたいと思っています。小さいですが、プレゼントを用意しました。もちろんこれではお返しできたとは思っていませんが、気に入っていただけると幸いです。



写真右: Stevien 写真左: Ernesto 4月から4年生。
“Humble”を大切にしたい。を語っていました。

